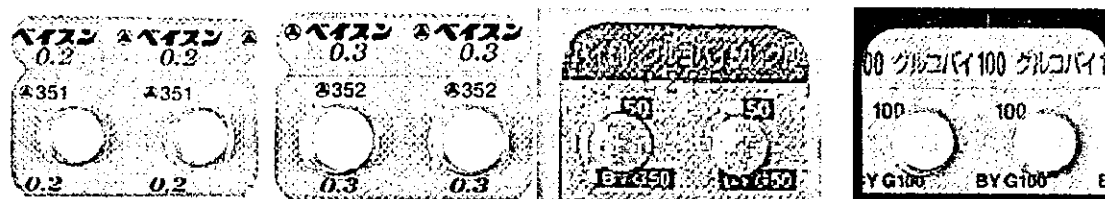


αグルコシダーゼ阻害剤



ベイスン 0.2 mg

ベイスン 0.3mg

グルコバイ 50 mg

グルコバイ 100 mg

ベイスン（ボグリボース）、グルコバイ（アカルボース）

服薬指導のポイント

1) 効き目について

腸管におけるデンプン、ショ糖などから単糖類へと分解するαグルコシダーゼという酵素の働きを阻害することにより糖の吸収を遅らせる薬です。

2) 服用中の注意事項

- 必ず指示されたとおりに各食事の直前に服用して下さい。
- 使用中何かいつもと違うと感じたら、できるだけ早く主治医や薬剤師に相談して下さい
- おなかのはったり、おならが多く出たりすることがあります。
- めまい、ふらつきを起こすことがあるので症状を感じたら必ず申し出て下さい。また、この薬を服用中は、高所作業や自動車の運転など危険をともなう機械の操作には注意してください。
- 定期的に肝機能検査が必要です。
- 妊娠中または妊娠の可能性のある方は申し出て下さい
- 授乳中の方は申し出て下さい。

3) 低血糖について

- 低血糖の症状には個人差がありますが、一般的には手足のふるえ、冷汗、動悸、異常な空腹感、頭痛といった症状があげられます。また、低血糖の症状が出現する血糖値にも個人差があります。
- 低血糖になっても症状が出ない場合、無自覚性低血糖と呼ばれる危険な状態です。必ず対策を主治医に相談して下さい。

4) 低血糖の対策

- 飲み薬やインスリンで治療中の人は、主治医に相談して予防のための対策をして下さい。
- 自分の低血糖の症状をよく知っておくことが大切です。
- αグルコシダーゼ阻害薬（ベイスン、グルコバイ）で治療中の人は、低

血糖対策としてブドウ糖を処方してもらって携帯して下さい（この薬だけで低血糖を起こすことは通常ありませんが、他の糖尿病治療薬やインスリン注射を併用している場合に低血糖がおこることがあります）。

- 低血糖の対策として、必ずブドウ糖または砂糖 10~15 g を携帯して下さい。低血糖が起こってしまったら、次のような処置が有効です。
 1. 砂糖またはブドウ糖を 10~15 g、または砂糖やブドウ糖の入った缶ジュースを 1 本飲んでください。αグルコシダーゼ阻害薬（ベイスン、グルコバイ）で治療中の人は、ブドウ糖を摂って下さい。
 2. 次に食事をするか、糖質の多い食品（おにぎり、パンなど）を 1~2 単位摂って下さい。
 3. 低血糖症状が治っても、血糖値がまた下がることがありますから、しばらくの間は十分注意することが必要です。
 4. 意識がなくなってしまった場合には、救急車で病院に連れていってもらい必要があります。
 5. 低血糖が起こったら、必ず主治医に相談して下さい。

- グルカゴン注射

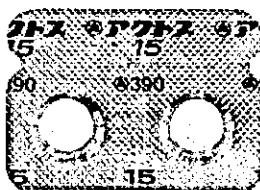
無自覚性の低血糖を起こしやすい人は、万一に備えてグルカゴンの注射液を自宅に保管して、身近な人に注射してもらい必要があります。必ず主治医に相談して下さい。

- 低血糖を予防するためには、薬の量や飲み方を守り、食事を摂る時間の遅れ、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。

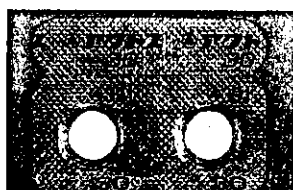
お薬をのみ忘れてたり、のまなかったりした場合

- 飲み忘れたときは、食事中か食直後に必ず服用して下さい。食後または空腹時は服用してもあまり効果はありません。次の食事まで待ち、必ず次の食事直前に 1 回分を服用してください（2 回分を一度に服用しない）。

インスリン抵抗性改善剤



アクトス 15 mg



アクトス 30 mg

アクトス（塩酸ピオグリタゾン）

服薬指導のポイント

1) 効き目について

- この薬は、末梢組織、特に筋肉のインスリンの効きを良くし、インスリンの作用を高めます。また、インスリンの筋肉での糖利用促進や肝臓での糖新生を抑えます。

2) 服用中の注意事項

- 必ず指示されたとおりに服用して下さい。
- 使用中何かいつもと違うと感じたら、できるだけ早く主治医や薬剤師に相談して下さい。
- 心臓の病気を合併している患者さんにはむくみ、急激な体重増加、息切れ、動悸などに気づいた場合は、主治医に連絡してご相談下さい。
- 肝機能の血液検査を定期的に受けましょう。
- 妊娠中または妊娠の可能性のある方は申し出て下さい。
- 授乳中の方は申し出て下さい。

3) 低血糖について

- 低血糖の症状には個人差がありますが、一般的には手足のふるえ、冷汗、動悸、異常な空腹感、頭痛といった症状があげられます。また、低血糖の症状が出現する血糖値にも個人差があります。
- 低血糖になっても症状が出ない場合、無自覚性低血糖と呼ばれる危険な状態です。必ず対策を主治医に相談して下さい。

4) 低血糖の対策

- 飲み薬やインスリンで治療中の人は、主治医に相談して予防のための対策をして下さい。
- 自分の低血糖の症状をよく知っておくことが大切です。
- α グルコシダーゼ阻害薬（ベイスン、グルコバイ）で治療中の人は、低血糖対策としてブドウ糖を処方してもらって携帯して下さい（この薬だけで低

血糖を起こすことは通常ありませんが、他の糖尿病治療薬やインスリン注射を併用している場合に低血糖がおこることがあります。

- 低血糖の対策として、必ずブドウ糖または砂糖 10~15 g を携帯して下さい。低血糖が起こってしまったら、次のような処置が有効です。
 1. 砂糖またはブドウ糖を 10~15 g、または砂糖やブドウ糖の入った缶ジュースを 1 本飲んでください。αグルコシダーゼ阻害薬（ベイスン、グルコバイ）で治療中の人は、ブドウ糖を摂って下さい。
 2. 次に食事をするか、糖質の多い食品（おにぎり、パンなど）を 1~2 単位摂って下さい。
 3. 低血糖症状が治っても、血糖値がまた下がることがありますから、しばらくの間は十分注意することが必要です。
 4. 意識がなくなってしまった場合には、救急車で病院に連れていってもらう必要があります。
 5. 低血糖が起こったら、必ず主治医に相談して下さい。

- **グルカゴン注射**

無自覚性の低血糖を起こしやすい人は、万一来に備えてグルカゴンの注射液を自宅に保管して、身近な人に注射してもらう必要があります。必ず主治医に相談して下さい。

- 低血糖を予防するためには、薬の量や飲み方を守り、食事を摂る時間の遅れ、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。

お薬を飲み忘れた場合

- 朝服用を忘れたときは昼食時に服用する、それ以降については服用しない（2 回分を一度に服用しない）。

様 服薬の確認表

○処方薬を飲んだ(○)または、飲まなかった(X)について印をお付け下さい。

治療薬

月	服薬状況	日	日	日	日	日	日	
		月	火	水	木	金	土	日
朝食前	のんだ							
	のまなかった							
朝食直前	のんだ							
	のまなかった							
朝食後	のんだ							
	のまなかった							
昼食前	のんだ							
	のまなかった							
昼食直前	のんだ							
	のまなかった							
昼食後	のんだ							
	のまなかった							
夕食前	のんだ							
	のまなかった							
夕食直前	のんだ							
	のまなかった							
夕食後	のんだ							
	のまなかった							

月	服薬状況	日	日	日	日	日	日	
		月	火	水	木	金	土	日
朝食後	のんだ							
	のまなかった							

分類	一般名	商品名 (メーカー名)	用量〔回/日〕	最大用量〔回/日〕
アンジオテンシン変換酵素 (ACE) 阻害薬	カプトプリル captopril	カプトリル, R Captoril, R (三共) (プリストル)	<錠・細> 37.5~75 mg x 3回/day <R:徐放剤> 18.5~37.5 mg x 2回/day	150 mg/day
	アラセプリル alacepril	セタプリル Cetapril (大日本) (持田)	25~75 mg x 1-2 回/day	100 mg/day
	マレイン酸エナラプリル enalapril maleate	レニベース Renivace (万有)	5~10mg x 1回/day: 腎性・腎血管性 悪性高血圧症を伴う場合は、投与開始 2.5mg x 1回/dayが望ましい。	
	塩酸デラプリル delapril hydrochloride	アデカット Adecut (武田)	15~30 mg x 2 回/day (15~ 60mgx2回/dayの範囲で増量し、安定 した降圧効果がみられた量又はその半 量を朝1回のみ投与可)	60 mgx2 回/day
	シラザプリル Cilazapril	インヒベース Inhibace (エーザイ)	0.5 mg x 1回/dayより開始し、漸次増 量可能	2 mg/day

リシノプリル lisinopril	ゼストリル Zestril (アストラゼネカ) ロンゲス Longes (塩野義)	10~20 mg x 1回/day:さらに、重症又は腎障害を伴う高血圧症の患者は、投与開始 5 mg x 1回/dayが望ましい。	
塩酸ベナゼプリル benazepril hydrochloride	チハセン Chibacen (ノバルティス)	5~10mg x 1回/day:さらに、重症又は腎障害を伴う高血圧症の場合は、投与開始 2.5 mg x 1回/dayが望ましい。	
塩酸イミダプリル imidapril hydrochlorid	タナトリル Tanatril (田辺) ノバロック Novarok (日本シエーリング)	5~10mg x 1回/day: 重症又は腎障害を伴う高血圧症の場合は、投与開始 2.5mg x 1回/dayが望ましい。 1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症 : 5mg x 1回/day; 重篤な腎障害を伴う場合は、投与開始 2.5mg x 1回/dayが望ましい。	
塩酸アモカプリル temocapril hydrochloride	エースコール Acecol (三共)	2~4 mg x 1回/day; 投与開始 1mg x 1回/day	4 mg/day
塩酸キナプリル quinapril hydrochloride	コナン Conan (三菱ウエルファーマ)	5~20 mg x 1回/day; 重症高血圧症又は腎障害を伴う高血圧症の場合は、投与開始 0.5mg x 1回/dayが望ましい。	
トランドラプリル trandolapril	オドリック Odric (日本新薬) プレラン Preran (中外)	1~2 mg x 1回/day; 重症又は腎障害を伴う高血圧症の場合は、投与開始 0.5mg x 1回/dayが望ましい。	
ペリンドプリルエルブミン perindopril erbumine	コバシル Coversyl (第一製薬)	2~4 mg x 1回/day	8 mg/day
ロサルタンカリウム losartan potassium	ニューロタン Nu-lotan (万有)	25~50 mg x 1回/day	100 mg/day

アンジオテンシンII(AII)受容体拮抗薬

カンデサルタンシレキセチル candesartan cilexetil	プロプレス Biopress (武田)	4~8 mg x 1回/day 腎実 質性高血圧症または腎臓害を伴う高血 圧症の場合は、投与開始 2 mg x 1 回/day	腎実 質性高血圧症または腎臓害を伴う高血 圧症の場合は、投与開始 2 mg x 1 回/day	12 mg/day 腎実質性高血圧症または腎臓 害を伴う高血圧症の場合は最 大 8 mg/dayまで
バルサルタン valsartan	ディオバン Diovan (ノバルティス)	40~80 mg/1回/day	40~80 mg/1回/day	160 mg/day
テルミサルタン telmisartan	ミカルテイス Micardis (山之内)	40 mg/1回/day 投与開始 20 mg/dayから開始し漸次増量 (最大80 mg/dayまで、肝臓害のある患者40 mg/ 10~20 mg/1回/day; 5~10 mg/1 回/dayから投与開始	40 mg/1回/day 投与開始 20 mg/dayから開始し漸次増量 (最大80 mg/dayまで、肝臓害のある患者40 mg/ 10~20 mg/1回/day; 5~10 mg/1 回/dayから投与開始	80 mg/day 肝臓害のある患者40 mg/dayま で
オルメサルタンメドキシミル Olmecartan medoxomil	オルメテック Olmetec (興和)(三共)			40 mg/day

分類	一般名	商品名 (メーカー名)	用量 (mg/日)	最大用量 (回/ 日)
HMG-CoA還元酵素阻害薬	シンバスタチンナトリウム simvastatin sodium	メバロチン Mevalotin (万有)	10 mg x 1回/day; 1~2 回に分服	100 mg/day
	シンバスタチン simvastatin	リポバス Lipovas (万有)	5 mg x 1回/day LDL/コレステロール 値の低下が不十分の場合 高コレステロール血症・家族性高コレス テロール血症: 20~30mg x 1回/day; 20 mgから開始し漸次増量	12 mg/day
	フルバスタチンナトリウム fluvastatin sodium	ローコール Lochol (ノバルティス)(田辺)	高コレステロール血症: 10 mg x 1回 /day から開始し漸次増量;	60 mg/day
	テルミサルタン telmisartan	アルトバスタチンカルシウム水 和物 atorvastatin calciumhydrate (山之内)(ファイザー)	高コレステロール血症: 10 mg x 1回 /day から開始し漸次増量;	40 mg/day
	ピタバスタチンカルシウム pitavastatin calcium	リバロ Livalo (興和)(三共)(日研化学)	1~2 mg x 1回/day; (肝臓害の患者へ の投与開始は、1mg/1回/dayから(最 大 2 mg/dayまで)	4 mg/day

分類	一般名	商品名 (メーカー名)	用量 (mg/日)	最大用量 (mg/日)
カルシウム拮抗薬	アゼルニジピン azelnidipine	カルプロロック Cablock (三共)	8 mg x 1回/day	16 mg/day
	ベシジル酸アムロジピン amlodipine besilate	ノルバスク, Norvasc (ファイザー) アムロジン Amlodin (住友)	2.5~5 mg x 1回/day	
	アラニジピン aranidipine	サプレスタ Sapresta (大鵬) ベック Bec (マルコ)	5~10 mg x 1回/day	20 mg/day
	塩酸エホニジピン efonidipine hydrochloride	ランデル, Landel (武田)	20~40 mg x 1~2回/day	60 mg/day
	塩酸ジルチアゼム diltiazem hydrochloride	ヘルベツサーHerbesser ヘルベツサーR Herbesser~R (田辺)	30~60 mg x 3回/day 100~200 mg x 1回/day	
	シルニジピン clinidipine	シナロング Cinalong (キッセイ) アテレック Atelec (味の素一持田)	5~10 mg x 1回/day 朝食後	20 mg/day
	塩酸ニカルジピン nicardipine hydrochloride	ペルジピン Perdipine 徐放ペルジピン LA Perdipine LA (山之内)	10~20 mg x 3回/day 20~40 mg x 2回/day	
	ニソルジピン nisoldipine	ハイミカード Baymycard (バイエル)	5~10 mg x 1回/day	
	ニトレンジピン nitrendipine	バイロテンシン Baylotensin (三菱ウエルファーマ)	5~10 mg x 1回/day;	

ニフェジピン nifedipine	アダラート、 アダラートL アダラートCR Adalat, L, CR (バイエル)	10 mg x 3 回/day 10~20 mg x 2 回/day 20~40 mg x 1 回/day	
ニルバジピン nilvadipine	ニバジール Nivadil (藤沢)	2~4 mg x 2 回/day	
塩酸バルニジピン barnidipine hydrochloride	ヒポカ Hypoca	5~15 mg x 1 回/day (朝食後)	
フェロジピン felodipine	スプレンジール Splendil (アストラテネカ) ムノバル Munobal (アベンティス)	2.5~5mg x 2 回(朝夕)/day	20 mg/day
塩酸ベニジピン benidipine hydrochloride	コニール Coniel (協和発酵)	2~4 mg x 1 回/day (朝食後)	8 mg/day
塩酸マニジピン manidipine hydrochloride	カルスロット Calslot (武田)	5~20 mg x 1 回/day (朝食後)	